

名古屋丸の内ロータリークラブ Weekly Report

西川 博会長 年度目標
「ロータリーの輪を広げよう」

例会場 名古屋クレストンホテル

TEL 052-264-8000

例会日時 木曜日 12:30

プログラム・クラブ会報広報委員長 矢野雄嗣



創立 1995年3月9日
承認 1995年3月28日
会長 西川 博
幹事 加藤 久明

事務局 名古屋市中区栄3-29-1
名古屋クレストンホテル 1007号

TEL 052-263-1324

FAX 052-263-0730

Mail rc.nagoya-marunouchi@waltz.ocn.ne.jp

HP <http://www.nagoya-marunouchi-rc.org/>

第889回 例会No. 28平成 26年2月6日(木) 晴

クラブフォーラム

- ローターソング 「君が代」「奉仕の理想」
- 出席報告 会員46名中26名出席
- 出席率 63.41% 出席計算人数41名
- 修正出席率 1月23日 95.24%
- スピーカー 藤田守彦さん、

会長挨拶



皆さんこんにちは。まだまだ寒いですが、和暦 24 節気では 2 月 4 日立春(春の始まり)が過ぎましたね。
米山奨学生 金培糊(ジョン・ベホ)さんようこそいらっしゃいました。心から歓迎いたします。

今月は世界理解月間ですが、我々のクラブでは IM 月間ですね。今月 2 月 20 日は我々のクラブが主催する IM があります。全員協力して成功させましょう。

IMIは「インターシティ・ミーティング都市連合会のこと。かつて IGGF、IGF とも言われていた。都市間、あるいは都市内の多くのロータリアンが一堂に会し、ロータリー情報を学び、親睦も図る。日本では、一つあるいは複数の分区やグループ単位で開催されることが多い」会合です。

昨日名古屋西RCの創立60周年記念式典に招待され川原ガバナー補佐、加藤幹事そして私で出席しました。名古屋西RCはみなとRCの親クラブですから我々は孫クラブになります。会員数100名男性会員のみ伝統のあるクラブです。

記念式典は「笑顔、感謝」のテーマで神尾隆実行委員長(元名古屋フィルハーモニー管弦楽団理事長)により執り行われ、式典の後CBCで毎週土曜日朝 7:30 から 放送される「サワコの朝」で有名な エッセイスト、タレントであります阿川 佐和子さんの～「聞く力」はなぜ売れたか～の演題で記念講演がありました。

「相槌はとても大事」=奥さんは話をしたいのであって結論がほしいのではないので最後まで話を聞いてあげてく

ださいなど講演がありました。

来賓の挨拶や、94歳になるただ一人のチャーターメンバーである名誉実行委員長 矢代健次郎さんのユーモアにとんだ晩餐会の挨拶もあって、大変和やかで60年の伝統を感じられるロータリー祝賀会でした。

2月の祝福

誕生日		結婚記念日	
1日	松尾さんご夫人	11日	大塚さん
9日	安藤さんご夫人	14日	加藤さん
15日	水野さんご夫人		
16日	森田さん		
17日	藤田さん		
18日	堀江さんご夫人		
26日	若原さん		
27日	堀田さんご夫人		

ニコBOX

●本日はいよいよ近づいてきたインターシティミーティングについて予習をします。会員全員で力を合わせてIMを成功させましょう！藤田守彦実行委員長、宜しく願いいたします。 西川会長、加藤幹事、大附、岩田、後藤、川原、矢野、亀井、高山、永井、和田、長谷川、森田、十文字、渡邊、成田、水野、田島、河原(敬称略)

藤田さん、若原さん 誕生日のお祝いをありがとうございました。

本日合計 44,000円

米山奨学金 2月



2014-15 年度地区委員会 委嘱状伝達

以下の方に、2014-15 年度地区委員会の委嘱状を伝達致しました。

研修委員 藤田守彦さん

職業奉仕委員 大岩とよみさん

国際奉仕委員 高山 進さん

奨学基金・学友・平和フェロシップ委員 長谷川龍伸さん



クラブフォーラム IM 実行委員会からの報告

実行委員長 藤田守彦



ロンD. パートン RI 会長メッセージ (ROTARY JAPAN WEB より転載)

「ポール・ハリスの夢を映す国際大会」

親愛なるロータリアンの皆さん、ポール・ハリスと 3 人の友人が最初のロータリークラブを創立したのは、109 年前の今月です。彼の目標は、見知らぬ人ばかりの街で、同じ価値観を分かち合う人と親睦のオアシスをつくるというシンプルなものでした。

生き続けるポール・ハリスのビジョン

時を経て、ロータリーの哲学は発展し、成熟し、ロータリアンの理想は、奉仕、職業倫理、国際理解と広がりました。ロータリーが成長し、広まった時、ポール・ハリスは、紛争が完全になくなった世界を思い描きました。個人的なつながりと違いを受け入れる包容力で、戦争は過去のものになるだろうと考えました。もし、人々が友情と寛容の精神で一つになることができさえすれば、いかに共通点が多いか、すぐに理解するだろうと、彼は感じたのです。幸いなことにポール・ハリスは、存命中にロータリーの考え方が確固たるものとなり、世界中の国々でロータリーが創立されるのを見ることができました。毎週、3 万 4,000 の地域社会において、それぞれのロータリークラブの例会の中で、彼のビジョンは生き続けています。しかし、国際ロータリー (RI)

の年次大会ほどポール・ハリスのビジョンを鮮明に映し出しているところは、世界のどこにもないでしょう。

多様性が織り成す華やかなタペストリー

数日の短い期間ですが、国際大会では、ポール・ハリスが想像した世界——平和を築き、他者に奉仕し、そしてただ、お互いに仲間と楽しむために、世界のあらゆるところから人々が集う世界——を目にすることができます。異なる背景、政治、文化、宗教が一枚の華やかなタペストリーへと織り合わされていきます。それは忘れられない経験であり、ジェタと私が毎年楽しみにしていることの一つです。大会は毎回異なりますが、どれも大切な思い出です。

今年、6 月 1~4 日にシドニーで開催される第 105 回 RI 年次大会で、私は議長を務める栄誉に浴します。シドニーは活気ある中核都市で、西と東の玄関口でもあり、ロータリーの国際大会の開催地として、まさにふさわしい場所です。たちまちわくわくし、リラックスできるこの街は、多様性に富み、豊かな文化と歴史があり、そして、私が訪れるのを楽しみにしている街の一つです。私は、この街がいつも故郷にいるような気分になさてくれることを知っています。また、いつも新しい発見があります。

2014 年、ロータリーの会員はシドニーに集まって、シドニーから「グダイ (G' day = Good Day)」と言いましょ。世界に手を差し伸べるために、そして、お互いに手を取り合うために、私たちは友人として、そしてロータリアンとして、誰もが歓迎される環境の中で集います。私たちの成功を祝い、将来に目を向け、「ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を」の新しい方法を見つけるため、皆さんの参加をお待ちしています。

K.R. “ラビ” ラビンドラン氏が 2015-16 年度 RI 会長のミニーに選出されました (ROTARY JAPAN WEB より転載)



コロombo・ロータリークラブ (スリランカ) の会員、K.R. “ラビ” ラビンドラン氏が、指名委員会により 2015-16 年度国際ロータリー会長ノミニーに選出されました。10 月 1 日までに対抗候補者が出ない限り、ラビンドラン氏が会長ノミニーとなります。

会員増強がロータリーにおける最優先課題であるとするラビンドラン氏は、「会員増強を図る上で、今後も若い世代を重視するとともに、経験豊富な退職者にも入会してもらわなくてはなりません。一つの方法で、世界中の会員問題に対処することはできないという認識に立ち、地域別の会員増強計画を立てるのは適切であると思います」と述べています。

商学の学位を持つラビンドラン氏は、ティーバッグの製造で世界をリードする上場企業、Printcare PLC の創始者・CEO (最高経営責任者) であり、そのほかいくつかの企業や慈善信託基金の理事会メンバーを務めているほか、スリランカ最大の麻薬防止団体である Sri Lanka Anti Narcotics Association の創立会長です。

ラビンドラン氏はさらに、「アルバート・アインシュタインが『同じことを繰り返しながら、違う結果を望むことを、狂気という』と言ったように、ロータリーの従来の方法は、良い結果を生みませんでした。今回の地域別会員増強計画で、世界が 22 の地域に分けられ、それぞれの地域にあった計画が実行されていることをうれしく思っています」と述べました。(掲載文より抜粋)